



人間総合科学学術院人間総合科学研究群
スポーツウエルネス学学位プログラム 博士前期課程
スポーツウエルネスマネジメント分野（協働大学院方式）



筑波大学社会人大学院等支援室 Tel.03-3942-6918 mail:businessentrance@un.tsukuba.ac.jp



人間総合科学学術院 スポーツウエルネス学 学位プログラム

スポーツウエルネスマネジメント分野

協働大学院方式

学位：修士（スポーツウエルネス学）



人間総合科学学術院 人間総合科学研究群

博士前期課程（修士課程相当）
スポーツウエルネス学学位プログラム

スポーツヘルス
プロモーション分野

スポーツウエルネス
マネジメント分野

協働大学院方式

教員



健康まちづくり政策 健康政策
AIによるビッグデータ PHRの開発

久野 譜也 教授

スポーツウエルネスマネジメント分野長

スポーツ庁スポーツ審議会委員、スポーツ
審議会健康スポーツ部会副会長、内閣
府戦略的イノベーション創造プログラム
(SIP)「包摂的コミュニティプラットフォーム
の構築」プログラムディレクター、筑波大
学発VB株式会社つくばウエルネスリサー
チ代表取締役社長、など厚労省、経産省、
国交省の多数の委員を兼務。



運動生理学 健康科学 疾病予防
ヘルスプロモーション サルコペニア

田邊 解 准教授

日本介護予防・健康づくり学会理事、雑誌
編集委員会委員長、筑波大学DESIGN
THE FUTURE機構広報戦略・推進タスク
フォース委員会 委員長、静岡市大谷・小鹿
地区まちづくり検討会委員、内閣府戦略的
イノベーション創造プログラム(SIP)「包摂
的コミュニティプラットフォームの構築」コ
ミュニティと共進化するデジタルツインに
よる次世代型包摂的まちづくり手法と包摂
性評価指標の開発」分担研究開発責任者
その他、厚生労働省、スポーツ庁の研究
事業や複数の企業との共同研究を実施。



ハイパフォーマンスマネジメント コーチング
スポーツ栄養 スポーツ科学 eスポーツと教育

清野 隼 助教

日本オリンピック委員会専任ハイパフォーマンス
アシスタントディレクター
日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟
医科学部長
東北楽天ゴールデンイーグルス
スポーツ栄養アドバイザー
日本氷上スポーツ学会/日本スポーツ栄養学会
理事
日本体育・スポーツ・健康学会
政策検討・諮問委員会 委員



スポーツツーリズム 地域活性化
スポーツ政策 スポーツイベント スポーツマネジメント

高橋 義雄 早稲田大学教授

筑波大学客員准教授

スポーツ庁スポーツ未来開拓会議
「みる」スポーツ分科会長
スポーツ庁スポーツキャリアサポート
コンソーシアム会長
日本卓球協会評議員
日本女子ソフトボールリーグ機構監事
日本スポーツツーリズム推進機構理事

企業CEOや前次官などのスポーツ、ウエルネス、まちづくりに関する有識者や
トップマネジメント層が教員として6名程度着任予定(2025年4月頃)

 筑波大学
University of Tsukuba

 スポーツ・ウエルネス
都市創生コンソーシアム

協働大学院とその特徴

筑波大学独自の大学院教育システムであり、国立・独立行政法人（国立研究開発法人を含む）・民間企業などの機関と筑波大学の連携による人材育成における教育プラットフォームを創出します。

エリート*を対象にした、社会で必要とされる課題解決型の社会人教育を推進する人材を育成するためには、産学官の各機関が、自らが必要と考える人材を大学と協働して育成していくシステムが重要であることから、この協働大学院方式を導入し、その運営母体となるコンソーシアムを設置しました。

コンソーシアムに参画する複数の企業及びスポーツ関連団体などと本学が人材養成上の目的を共有の上、教育内容や指導体制を協議し、協働して大学院の教育・研究指導にあたります。つまり、産学連携でスポーツウエルネスマネジメント分野を企画運営していくという大きな特徴があります。各参画機関の特性や社会的役割、あるいは事業の特徴や革新的な方向性を有することを立脚点として、人材育成に関わります。

これらの理念から、本分野の学位は専門学位（修士）になります。専門学位は、研究能力に加えて、社会における現実の具体的課題に即した「現場力」の養成を重視した学位プログラムの課程を修了した者に対して授与される学位です。これにより、社会の具体的課題の解決に貢献する人材育成を一層推進していきます。

*エリート＝難度の高い社会課題に対する意識や素養、知識を持ち、プロジェクトを推進しながら、企業やスポーツ関連現場などで生じるギャップを解決しようとする人材を指します。



Sport Wellness
Urban Revitalization
Consortium

スポーツ・ウエルネス都市創生コンソーシアム



筑波大学
University of Tsukuba

スポーツウエルネスマネジメント分野



企画運営するコンソーシアム(全17機関)



*株式会社東急総合研究所が2025年4月1日に入会予定

カリキュラム編成・講義、研究指導、OJT・実習

筑波大学 人間総合科学学術院人間総合科学研究群
 スポーツウエルネス学学位プログラム
 スポーツウエルネスマネジメント分野(協働大学院方式)



市場調査から見たスポーツ、ウエルネス、まちづくり、大学院教育へのニーズ

1 スポーツ、ウエルネス、まちづくりの業界に求められる人材スキルや能力獲得

■企業「運動や健康の大切さを広めて**社会課題を解決するスキル**を取得」

自治体「効果的なスポーツイベントの**在り方や作りこみ方**」

企業「スポーツとウエルネスを上手く繋げて事業にする**企画力・課題解決力**」

■企業「**企画・事業開発力**」「**マネジメント能力**」

官公庁・自治体「**課題解決力**」「**マネジメント能力**」「**知の活用力**」「**企画・事業開発力**」

修了生「**研究力・専門力**」「**課題解決力**」「**マネジメント能力**」

2 スポーツウエルネスマネジメント分野（協働大学院方式）への期待

■企業 健康スポーツ領域「自治体との協業による**健康的なまちづくり政策**」

IT領域「運動・スポーツや睡眠・メンタルヘルス・コミュニケーションにもたらす**影響や効果の検証**」

「スポーツによる健康への効果の**エビデンス構築**」

健康・スポーツ、食品領域「**スポーツとウエルネスの連携**から新たな製品・価値を生み出す**企画開発**」

■自治体「スポーツにより健康的な街・社会を作る**政策**、スポーツイベントがもたらす**効果検証**」

筑波大学実施の需要調査結果より

上記のニーズを反映したカリキュラムを作りました

スポーツウエルネスマネジメント分野で 学んでいただきたい方

スポーツ、ウエルネス、まちづくり領域において

- ・ マネジメントやプロジェクト業務に携わっていて、より高度なプロジェクトへの参加を望んでいる方
- ・ 自分のキャリアアップにマネジメント力や課題解決力、企画・事業開発力が必須と考えている方
- ・ 難題な社会課題に対しても、確実に解決できるスキルを身につけ、教員や学生同士における人脈を築きたい方
- ・ 将来、起業したい方



特色あるカリキュラム

1 スポーツビジネス開発論

講師

高橋(早稲田大学)、小野(ACA Football Partners CEO)
勝(アシックス スポーツ工学研究所 部長)ほか

2 健幸都市づくり論

講師

久野、谷口、神田(大和ハウス工業 執行役員)
安藤(日建設計総合研究所 主席研究員)ほか3 実践的都市データ &
医療介護データ活用論

講師

田邊、山本(カナミックネットワーク 社長)、
安藤(日建設計総合研究所 主席研究員)ほか4 スポーツウエルネスにおける
生成AI活用法

講師

岡田、山本

5 スポーツウエルネスビジネスに
関わる法務・会計・ファイナンス

講師

石田(BACeLL法律会計事務所 代表、弁護士・公認会計士)ほか

6 スポーツウエルネス起業法

講師

山本(カナミックネットワーク 社長)ほか

7 ウエルネスマーケティング

講師

増本(カーブスホールディングス 社長)ほか

8 エビデンスベースの
ハイパフォーマンス支援策

講師

清野、鈴木(R-body 社長)

9 スポーツ価値創造論：
スポーツで人と社会を動かす

講師

大井(早稲田大学)ほか

10 健康無関心層を動かす行動変容技術

講師

久野、塚尾(つくばウエルネスリサーチ 副社長)
増本(カーブスホールディングス 社長)、鈴木(R-body 社長)ほか

11 スポーツウエルネス医科学

講師

田邊、山田
塚尾(つくばウエルネスリサーチ 副社長)ほか

12 課題解決型実習 I および II

講師

久野、田邊、清野

2025年4月1日現在

社会人に対応した多様で柔軟性をもつ授業形態

集中形式

学外での開講

オムニバス形式*

など

*オムニバス形式=複数の教員が1つの授業を分担することを指します。



スポーツ、ウエルネス、 健康都市づくり分野での イノベーション人材を 育成します！

久野 譜也

スポーツウエルネス学学位プログラム
スポーツウエルネスマネジメント分野長(協働大学院方式)



トップスポーツのマネジメント、スポーツによる地域活性、そしてこのまちに住むと自然と健康になるまちづくりを推進できるプロジェクトマネージャーの育成に寄与できるエリート教育を推進するために、我が国では本学のみが唯一実施している協働大学院方式(産官学のコンソーシアムが実際に教育を推進する)によるリスキリング・リカレント教育プログラムが2025年4月にスタートし、第1期生が入学する運びとなりました。

これまで我々は20年間スポーツウエルネス領域のリカレント教育を行ってきましたが、どうしてもアカデミアのみの教育体制であると、グローバルにおいて熾烈な競争をしている企業や各種スポーツ団体及びそれらの構成員のニーズに必ずしも十分に答えきれていないことが本分野の準備のための調査でも明らかとなっています。しかしながら、大学の専任教員のみではそのニーズに応えられる多様な教員を確保することは教員定員の壁もあるため現実的には困難でした。

しかしながら、この協働大学院では産学のコンソーシアムを構成し、それぞれの会員から、本学教員の兼務もしくは授業を担当してもらえる人材を出してもらい、アカデミアに所属する教員のみでは不十分な領域を補うことが出来る体制を構築することが出来ました。

それゆえ、本分野に所属した院生は、スポーツ、ウエルネス、まちづくりにおける日本のトップの教員陣から、直接的に授業や修士論文指導を受けることが出来ます。繰り返しになりますが、このような教育体制は現状本学のみでしか採用されておらず、ここでしか受けられないというアドバンテージを我々は入学生に対して提供できると強く自負しております。

是非、日本が抱える社会課題、1)地域活性(格差の是正)、2)少子化対策、3)超高齢社会、などにおける各種社会課題の解決力を身につけられる本分を持ち、挑戦されることを期待します。

*エリート=難度の高い社会課題に対して、解決策を企画し、それを解決できるプロジェクトを推進し、成果を出せる人材を指します。



スポーツ、ウエルネス、 まちづくり業界の新進的な 人材育成プログラムを 先導します！

スポーツ・ウエルネス都市創生コンソーシアム会長

増本 岳

株式会社カープスホールディングス 代表取締役社長



2024年2月、スポーツ、ウエルネス、まちづくり業界をリードする企業・団体と筑波大学の協働による「スポーツ・ウエルネス都市創生コンソーシアム」が発足しました。

このコンソーシアムは、参画機関のそれぞれ強みとする知見や技術を大学院教育プログラム「スポーツウエルネスマネジメント分野」に実装し、社会課題を解決できる高度な人材を育成するためのプラットフォームです。コンソーシアムが社会人大学院教育プログラムの企画運営を行うシステムは他に類を見ず、一企業の立場としてもアカデミアと産業界の融合による人材育成プログラムを先導できることは画期的なことであり、大いなる夢を抱ける事業と言えます。

我が国では超高齢化・少子化の進行に伴い、労働力の減少や経済力の低下といった多くの社会課題に直面しており、持続可能な社会構造の再構築が求められています。

本プログラムで学ぶことによって、皆さんは、大学が従前より得意としてきた高度な専門知識のみならず、「企画力・事業開発力」、「課題解決力」、「マネジメント力」などのビジネスの現場に必要な能力を身につけることが可能となり、これらの社会課題に新しい視点からアプローチできるようになるでしょう。また、多業種から構成されるコンソーシアム参画機関や社会人学生との交流から得られる知見やネットワークも必ず皆さんの財産になることと思います。

本プログラムに入学し、我々とともに学び、持続可能な社会を創造しませんか。皆さんの挑戦を心よりお待ちしております。



スポーツウエルネスマネジメント分野への期待 (旧プログラム修了者の声)



前原 正浩氏

筑波大学が2003年、東京キャンパスで夜間の社会人大学院体育研究科スポーツ健康システム・マネジメント専攻を設立するというチャレンジから20数年。今回の取り組みに対する新たなチャレンジに心から期待しています。スポーツウエルネスにおけるより実践的な学びを通じて、社会課題を解決できる人材をどのように育て社会へ送り出すか、とても興味深く、楽しみでもあります。

同窓会としましても、これまでの学位プログラムとの連携や修了生と繋がることで新たな交流が生まれることが大きな刺激となりますため、心から歓迎いたします。

公益財団法人日本卓球協会 名誉副会長 国際卓球連盟 執行副会長
筑波大学大学院スポーツウエルネス学学位プログラム(SWP)同窓会会長
2005年度修了(体育研究科スポーツ健康システム・マネジメント専攻)・第1期生



石田 恵美氏

筑波大学の社会人大学院に人生半ばで入学し、修了生の立場です。大学院では研究を通して、夢や希望、やりたかった内容を論文にすることはできますが、いざ世の中で実装させようとすると、どのように実装させればよいのか? 事業として成立するのか? お金は回るのか? 法律上可能なのか? など様々な問題にぶつかります。学びながら並行して考え、行動できる力をつけないと、修了後に気づくのでは遅いと常々思っていました。

今回、錚々たる企業などとコンソーシアムを組み、現実にイノベーションを社会実装できる社会人人材を育成しようとする思いに、筑波大学の本気度を感じています。

BACeLL(バケル)法律会計事務所 代表 弁護士・公認会計士
2023年度修了(スポーツウエルネス学学位プログラム・ヘルスプロモーション分野
博士前期課程)・第19期生



修了要件

- ・原則として2年以上在籍し、専門・関連科目などを30単位以上取得する
- ・修士論文もしくは特定課題研究報告書を提出し、合格することが求められる

修了者には修士(スポーツウエルネス学)の学位が授与される

授業時間		
	火～金曜日	土曜日
第2時限		10:20～11:35
第3時限		11:45～13:00
第4時限		13:45～15:00
第5時限		15:10～16:25
第6時限		16:35～17:50
第7時限	18:20～19:35	18:20～19:35
第8時限	19:45～21:00	

課程修了までの主なスケジュール		
1 年次	4月	入学式・オリエンテーション／春学期授業開始
	8～9月	休み(夏)
	10月	秋学期授業開始／学位論文中間発表会(運営・参加)
	2月	学位論文発表会(運営・参加)
	2月～3月	休み(春)
2 年次	4月	オリエンテーション／春学期授業開始
	5月	「研究テーマ届」の提出
	8月～9月	休み(夏)
	10月	秋学期授業開始／学位論文中間発表会(発表)
	12月	「正式題目届」の提出
	1月	学位論文提出／口述試験
	2月	学位論文発表会(発表)
	2月～3月	休み(春)
	3月末	学位記授与式・修了

2026年度大学院入学試験(2025年度実施) スポーツウエルネス学学位プログラム(博士前期課程) スポーツウエルネスマネジメント分野 推薦入試

- 〔出願資格〕 日本国内の4年制大学を卒業した者又は2026年3月までに卒業見込みの者
- 〔出願期間〕 2025年7月1日(火)～7月12日(土)(Web出願)
- 〔出願書類〕 ・出身大学の卒業及び成績証明書 ・検定料30,000円 など
- 〔試験日〕 2025年9月6日(土)
- 〔選抜方法〕 書類審査及び口述試験
- 〔合格発表〕 2025年10月1日(水)
- 〔入学日〕 2026年4月1日(水)